

あきる野市 平成18年(2006)9月30日 第9号

町・自連会報

発行/平成18年9月30日 発行者/平野通雄 編集/あきる野市町内会・自治会連合会会報部会

あきる野市町内会・自治会連合会役員協議事項

- 平成十八年
五月二十二日
- 十八年度活動及び行事計画について
 - 七月度連合会全体会の開催について
 - 十八年度部会活動について
 - 各地区報告事項
 - 市からの連絡事項
- 一、スポーツ・レクリエーション大会開催のお礼
- 二、第五十六回社会を明るくする運動について
- 三、ごみ情報紙「へらすぞう」配布のお願い
- 四、あきる野市環境基本計画について
- 六月二日
- 簡易保険について
 - 六月二十三日
 - 部会活動について
 - 全体会の開催について
 - 新会長用ブレザー服注文について
- 各地区報告事項
- 市からの連絡事項
- 一、二ツ塚廃棄物広域処分
- 場公害防止協定の一部改正について
- 二、会員会費、福祉バザー、共同募金、歳末たすけあい募金等のお願い(社協)
- 三、映画祭・夏まつり・とろう流しポスター掲示依頼
- 七月十一日
- 町内会・自治会全体会
- 十八年度活動計画について
 - 部会活動について
 - 一泊研修会の企画について
 - 市からの連絡事項
- 一、十八年度社協会員会費募集、福祉バザー、共同募金、歳末たすけあい等協力のおお願い
- 二、敬老行事推進事業について
- 三、健康づくり市民推進委員活動の協力依頼
- 四、自主防災倉庫の設置について
- (書記 清水勝雄)

安全で安心な町内会づくりをめざして

湖上防犯パトロール隊は、一般町内会員、日赤会員、PTA、民生委員、健康づくり推進委員、ふれあい福祉委員、女性防犯活動指導員、同推進員、町内会役員及び防犯活動推進員のボランティア総員四十一名(女性二十二名)で構成しています。

当隊は昨年来の広島、栃木の児童殺害事件など凶悪犯罪の発生と「あきる野市安全安心まちづくり条例」制定並びに防犯協会からの「安全安心街づくり」の地域体制整備の働きかけを受け、その整備が急務と考え、町内会全体に協力を呼びかけて組織しました。

パトロールの地域は西秋留小学校区内の湖上全域と上・下代継の一部です。

活動は西秋留小学校の登下校時です。

活動が無理なく永続出来るように隊員一人ひとりの回数は週一回、担当日は隊員の都合の良い日、巡回時間は一、二時間としました。

巡回の主眼は児童登下校前の不審者、不審な車の有無確認、通学路とその周辺の見守りをしながら、一般犯罪への監視にも目を配り「安全で安心な地域であり続ける」ことで、全員一丸となって取り組み中です。

私達の活動はまだ途にたばかりですが、町内挙げての体制づくりができたのは湖上駐在所塩野さんの昼夜を問わずのご指導ご支援と犯罪発生〇の街でありたいという地域の盛りあがりのおかげでありますことを申し添えます。

今後も事件を未然に防ぐために地域の皆さまのご理解とご協力を得ながら隊員一同力を合わせて頑張ります。

(湖上町内会長 堀江稔久)



編集後記

去る暑い7月、18年度の会報部会を開催し、会報についての取り組について協議しました。会報をどうしたら読んでもらえるか、発行する者にとって最大の課題で、役員会で全員配付か、回覧方式にすべきという意見もでしたが、全員配付の方向で発行し、経費を上まわる情報の提供を、部数の厳正等無駄の追求もしていくつもりです。

会報9号は、青木前会長から平野会長に引き継がれ、会長挨拶を掲載して、今後の連合会の進路の披歴をお願いしました。自治会・町内会紹介は、緑の里自治会と上引田町内会に登場願いました。地域の状況が特出されています。また、絶つことのない凶悪犯罪の続くなか、湖上町内会の防犯の取り組みを掲載しました。

会報について、ご意見をお願いします。

(部会長 土田一男)

就任ご挨拶



あきる野市町内会・自治会連合会 会長 平野通雄

21世紀も、はや6年目となりました。皆様方には益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

去る四月二十一日あきる野ルピア ルピアホールにおいて、あきる野市町内会・自治会連合会の18年度定期総会が、17・18年度の全町内会・自治会会長出席のもとに開催され、すべての議案について原案通り可決、ご承認をいただきました。18年度総会におきまして連合会長 青木且治氏のご退任され、後任として会長を勤めることとなりました。私には余りにも荷の重い大役でございますが、役員は

じめ皆様方の御協力をいただき、しっかりと汗を流してまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

あきる野市町内会・自治会連合会の構成は従来の85の町内会・自治会のうち、戸倉地区の7自治会が2自治会に合併され、18年度から80の加盟構成で運営されます。

あきる野市も昨年市制10周年の節目を迎え新たな前進に向けて力強く歩んでおります。あきる野市の活気ある街づくり発展の地域基盤の一翼を担っている連合会は常々問題意識をもち、正しい尺度を求めつつ羅針盤を誤りなく、地道に誠実に澁みのない建設的な歩みを進めてまいります。

昨今の社会情勢の身近なことから「景気」、「格差問題」、「人口減少問題」、「医療福祉問題」、「治安」等をみますと、「景気」については平成大不況の原因であった資本と労働力の無駄遣い、資本

と労働力の配分の誤りが15年間かかり徐々に是正され、漸く経済は順調に軌道に乗りつつあり「日はまた昇り始めた」の感、悪い方向では「格差問題」で「勝ち組」負け組「問題で市場経済万能の国境を超えての多国籍企業の生産取引の拡大に呑み込まれてしまったことに起因してあります。IT技術と相まって新技術を駆使して上昇する者と、その波の下に沈む者との分ける傾向があるようです。

「人口減少問題」は16歳〜64歳までの労働人口減少の問題でありましょう。ここで私共として一番の問題は「治安」であります。このところ御案内のように動機がよくわからない年少者に対する余りにも痛ましい事件が多発しています。

最近の社会保険庁の違法の件などは本来の治安悪化とは若干異なりますが情けない限りです。また先頃の文部科学大

臣賞を取り消された洋画家の盗作事件など、どう理解すればよいかわからない事件です。「治安」の問題は突き詰めれば「教育」と「社会倫理」の問題です。一朝一夕に結果のでる事柄ではありません。粘り強く対応する以外はないと思います。

18年度は町内会・自治会の会長さんが50名に及び交替されました。夫々の地域の焦点に位置し、住みよい街、安全安心のまちづくりに努めております。地域と行政の係り合いは一層多面的になります。連合会としまして、より一層裾野を広げ横断的な繋りを深め、地域自治のより良い発展に向って豊かな心をもって活発な活動運営に取組み、信頼に込め得る組織の充実に努めてまいります。

今後共皆様方の一層の御指導御鞭撻の程お願い申し上げます。御挨拶いたします。

平成18・19年度あきる野市町内会・自治会連合会名簿

町内会・自治会・自治会連合会会長・自治会会長

町内会・自治会	会長名	町内会・自治会	会長名	町内会・自治会	会長名
雨間町内会	田邊宣昭	折立町内会	岡野和夫	東町自治会	田中藤治
野辺町内会	指田信一	西ヶ谷戸町内会	末吉征司	下町自治会	馬場裕司
二宮町内会	小澤英夫	松山町内会	岩澤章規	仲町自治会	藤野力
小川町内会	宮崎幹夫	草花パークハイム町内会	内藤剛	小庄自治会	南征夫
小川東町内会	田中正義	小宮久保町内会	手塚勝敏	上町自治会	河野喜助
二宮団地自治会	柳井史寿	羽ヶ田町内会	古田士一雄	五日市入野自治会	八田野剛紀
秋留台自治会	渡部好昭	小宮町内会	坪井満	五日市入野自治会	八田野剛紀
秋川ハイム自治会	榎本清	瀬戸岡町内会	田中直治	小中野自治会	高橋和久
平沢町内会	柳澤隆	原小宮町内会	菊池弘吉	小和田自治会	小峰頼政
大塚自治会	岩野和雄	菅生町内会	森田庸一	留原自治会	中村元明
屋城自治会	小峰道治	四軒在家町内会	田野倉昌利	中村自治会	清水勝雄
前田自治会	岸川脩	尾崎町内会	坂本克明	高尾自治会	渡邊吉房
緑の里自治会	小熊和男	草花住宅自治会	黒田吉昭	下館谷自治会	唐沢勝之
ホームタウン秋川自治会	山田修二	山田下分自治会	小澤慶祐	上館谷自治会	青木西治
上引町町内会	影山林三	山田中分自治会	小野澤健一	小倉自治会	細川隆
中引町町内会	馬場範明	山田上分自治会	馬場信治	山下自治会	中曾根信幸
下引町町内会	齋藤政美	網代自治会	網代賢治郎	樽自治会	渡辺友明
淵上町町内会	堀江稔久	新宿自治会	野口晶通	深沢自治会	志村勝美
上代継町内会	私市洋二	上宿自治会	平野利民	戸倉東部自治会	土田一男
下代継町内会	関田功	中平自治会	中村公一	戸倉西部自治会	黒山榮二
牛沼町内会	山本藤男	大上自治会	飯野貞夫	落合自治会	山崎文司
油平自治会	平野通雄	北伊奈自治会	池澤功	乙津自治会	浦野勇
油平本町町内会	矢治重男	西伊奈自治会	篠崎定吉	青木平自治会	市川六太郎
富士見台自治会	中井公康	森ノ下自治会	田辺昭吉	軍道自治会	岡部準一郎
森山町内会	塩野文夫	横沢自治会	小林十三雄	養沢自治会	森屋三郎
高瀬町内会	田中武司	三内自治会	山下松濤	寺岡自治会	沖倉時代
草花町内会	倉田克治	小机自治会	松村光雄		

連合会役員

会長	平野通雄
会長代行	細川隆
副会長	宮崎幹夫
理事	倉田克治
	中野公一
	浦野勇
理事	小澤英夫
	田邊宣昭
	中井公康
	飯野貞夫
	八田野剛
	土田一男
理事・監事	市川六太郎
書記	山本藤男
会計	岩澤章規
	網代賢治郎
	末吉征司
	清水勝雄

連合会部会

会報部会	土田一男
部会長	岩澤章規
	網代賢治郎
	清水勝雄
	小澤英夫
	中野公康
	八田野剛
	市川六太郎
一丁部会	山本藤男
部会長	細川隆
	宮崎幹夫
	倉田克治
	中野公一
	浦野勇
	末吉征司
	田邊宣昭
	飯野貞夫



自治会・町内会紹介 緑の里・上引田

全員参加で楽しい自治会

武州多西郡雨間村 これが寛永八年（一六三一）古文書に載っている秋川の地名との事。昭和五十年殖産土地が緑の里を造成し、募集を開始。五十一年に第一陣六世帯が入居してから三十年が過ぎました。旧五日市街道と五日市線に挟まれた南側の秋川岸までならかな下り斜面で、青春記念会館（現特養老人ホームこもれびの郷）と多摩川幼稚園の間は底地を作っていて、冬でも陽当たりが良く「暖かさ」や「ぬくもり」を感じさせ、周囲も栗林や雑木林に囲まれて緑の里の名に相応しい環境であったと開発担当者の言である。当時秋川市には戦前からある町内会・自治会を合わせて四十の団体があったが緑の里は世帯数も一番少なく歴史も無いと言って良い。何故自治会が独立したかについて申し述べます。

我々には土地取得の条件に汚水処理共同利用施設の運営が義務付けられていて、公共下水道が完成する迄施設の運営を某社に委託する事が条件であった。数千円の供託金について施設建設費、これ迄の運転費を除いて返還を求め、自ら運営して行くことの方針を打ち出し数回の交渉の結果、委託業者も了承し供託金の残額が返還されたわけである。但し条件として、独自の会則と自治会の発足が必要となり雨間町内会より分離独立した次第です。この暗中模索の懸案処理に献身的な活動された初代会長佐々木弘氏（故人）には満腔の謝意を表すものです。お陰様で自治会館も建て、頭初会員は今より三十歳若いし子供も大勢いたので夏の祭りには揃いの法被・浴衣を作り樽を組み太鼓を叩き盆踊り、花火、マスのつかみ取りに興じ、冬は忘年のクリスマス会に家族揃って参加し恒例の福

引きで幕を閉じるのが定番であった。昭和五十六年秋川体育館でサマーコンサートを開催し『小さな自治会が大きなコンサート』と読売新聞に載ったりした。最近は少子高齢化の余波でイベントの規模も縮小せざるを得ず寂しい限りである。世帯数が少ない自治会なので何事も全員参加を建前に防災、防犯、環境、福祉活動に取組んで行きたい。（緑の里自治会長 小熊和男）

「元気澁刺活気溢れる町」



スポレク大会

鎌倉時代新天地を求めて、この地域に秋川水流を利用し田畑を開墾村落を形成したのが始まり（当時は相模の国、引田と云う地名は、日來野からの説）。また親義経派が鎌倉から落ちてきたと云う説が

あり義経に由来する地名史跡が多い（二の谷、義経松・岩、静の郷等）。秋川に架かる引田橋を渡る和鎌倉建長寺派宝泉寺が道扇状に左右に分ける。右は古道馬昇坂通り、坂を昇り進むと紅葉塚（五日市街道原店信号）更に北へ五日市線武蔵引田駅に至る。左は古道茶屋坂通り、いくつかの坂を昇ると三角地蔵（旧五日市街道）に至る。

扇の真中に熊野神社が鎮座し町内の安泰を守る。この古道沿い内側に四〇〇世帯の住宅地が広がっている。膝元に清き秋川、眼下に秋川丘陵の山並が広がる。ここが我が町内会である。

良き伝統、文化、風土を受け継ぎ、新たな流れ文化を吹きこみつつ、「住んでいて、住んで良かった」そう思う町作りを目指し、町内会役員が心一つに長寿会・PTAと連携し、年間町内会行事に「気

軽にちよつと参加」を掛け言葉に汗・力・知恵を出し、内容に味・色・楽を加え、努力しています。特筆行事、四月・熊野神社例大祭（引田三社祭）、七月・納涼の集い（盆踊り）には年を追う毎に参加者が増え、賑々しく盛大に行われ、町内が大いに盛り上がりました。参加した皆さんから「楽しかったよ!! ありがとう!!」の声を聞きながら、思わず役員一同ガッツポーズをしました。『声を力に更にヨッシャー』（上引田町内会長 影山林三）



熊野神社例大祭（4月）